



〒 399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4

TEL (0263)53-8802 FAX (0263)51-1290 E-mail: kikaku@edu-ctr.pref.nagano.jp

目次

今後の研修講座の実施方法について	p. 1
10月中旬までの研修講座の実施方法の一覧	p. 2
今年度の研修講座の様子	p. 3
算数・数学教材研究ノートの紹介	p. 4

今後の研修講座の実施方法について

**10月中旬までの研修講座は、
「参集」または「オンライン」で実施します**

※10月後半以後の実施方法につきましては、今後決定次第お伝えします。

👉しののめ p.2

10月中旬までの研修講座の実施方法の一覧
または

ホームページ(コロナ対応特設ページ)

<http://www.edu-ctr.pref.nagano.jp/info/index.html>

をご確認ください。

10月中旬までの研修講座の実施方法の一覧について
「**事前連絡有無**」の項目を必ずご確認ください。

有→各講座担当者から、別途電子メールまたはファクシミリで
詳細をご案内します。

無→講座は年度当初の講座案内のとおり実施します。
追加連絡はありません。

10月中旬までの研修講座の実施方法の一覧

※ こちらは「しののめ」発行時(9月27日現在)の一覧です。
最新情報は

ホームページ(コロナ対応特設ページ)

<http://www.edu-ctr.pref.nagano.jp/info/index.html>

を随時ご確認ください。

令和3年度 10月 総合教育センター研修講座 実施方法一覧

9月27日現在

各講座の変更やZoom等の接続方法について、講座担当者からメールまたは電話、FAX等で、管理職の先生を通じて受講者の方々に、随時連絡をしています。
過日センター連絡用にご登録いただいたメールアドレスの、メール確認をお願いします。

講座番号	講座名 サブタイトル	担当部	講座期間	講座の形態	別途連絡
2-2-02-01 1	校長・教頭研修 高校教頭研修	教職	10月1日(金)	オンライン	有 9月15日 メール済
3-1-01-22 1	塩尻短歌館探訪 ～短歌に親しむ芸術の秋～	教科	10月1日(金)	参集 【塩尻短歌館】	有 準備中
3-5-02-22 1	児童生徒理解と課題への対応 基本Ⅱ ～子どもに寄り添う理解と支援(小学校)～	生特	10月1日(金)	オンライン	有 9月24日 メール済
3-2-01-21 1	人権教育 基本Ⅰ ～共に創る人権教育～	教職	10月4日(月)	オンライン	有 9月24日 メール済
3-6-03-22 1	クラスの中の気になる子の支援 基本Ⅱ ～中学校 通常学級～	生特	10月5日(火)	オンライン	有 準備中
2-1-01-01 1	義務校長マネジメント研修A(中東信)	教職	10月7日(木)	オンライン	有 準備中
3-1-04-32 1	地域素材の教材化 基本Ⅱ ～河原の石ころから探る大地の生い立ち～	教科	10月7日(木)	オンライン	有 準備中
3-4-13-41 1	商業 応用 ～情報処理の授業改善～	情産	10月7日(木)	参集 【総合教育センター】	無
3-7-01-01 1	授業力向上のためのカリキュラム・マネジメントA (東北信会場)	企画	10月7日(木)	オンライン	有 準備中
2-1-01-02 1	義務校長マネジメント研修B(南北信)	教職	10月8日(金)	オンライン	有 準備中
3-4-11-21 1	農業 基本 ～HACCPで変わる食の安全衛生教育～	情産	10月8日(金)	参集 【佐久平総合技術高等学校】	無
3-7-01-02 1	授業力向上のためのカリキュラム・マネジメントB (中南信会場)	企画	10月8日(金)	オンライン	有 準備中
3-9-01-03 1	地域と学校で取り組むSDGs	生涯	10月12日(火)	オンライン	有 9月7日 メール済
3-3-02-22 1	高校情報 基本 ～高校 教科「情報」教育～	情産	10月14日(木)～10月15日(金)	参集 【総合教育センター】	無
3-5-02-23 1	児童生徒理解と課題への対応 基本Ⅲ ～不登校の子どもへの理解と支援～	生特	10月14日(木)	参集 【総合教育センター】	無
3-6-02-23 1	特別支援教育 基本Ⅲ ～自立活動の基本～	生特	10月15日(金)	参集 【総合教育センター】	無

研修講座から

社会科の基本Ⅱ ～県立歴史館の資料を活用した教材研究～ 7月13日

この講座では、長野県立歴史館を会場に、身近な資料館の役割を理解するとともに、地域とのかかわりを意識した教材研究について学びました。受講者は、歴史館専門主事と共に歴史館を見学したり、教材研究をしたりすることで、資料館の活用や専門家との連携について考えを深めました。

<主な内容>

講義 「地域素材の教材化について」

見学 「県立歴史館施設見学」

演習 「県立歴史館の資料を用いた地域の歴史の教材化」

<担当者の感想>

県立歴史館には、多くの所蔵資料があります。教材化に向けてどのような手続きを経れば、必要な情報にたどり着くことができるのかを、体験的に学ぶ講座となりました。受講者のみなさんが事前に据えた「教材としたいテーマ」について、歴史館専門主事のみなさんと語り合い、専門性を高めることができました。

◆◆受講者ふりかえりから◆◆

- ・地元の歴史の中から、その時代の大きな日本史の流れと関連が深い人物や出来事をうまく見つけ、教材化することにより、深く、そして生徒が自分に関連あるものとして考えられる授業が成立するを知りました。
- ・教育をする場所は校舎だけではないはずなので、校外へ出て議論していくことは面白く、大切なことだと学びました。外部の方、他教科のサポートを得ながら活動していく必要性も学びました。
- ・初めて知った地元の遺跡群も多かったため、後日に巡見調査をして教材を作り、地元の歴史について探究が深められるようにしていきたいです。

受講風景



歴史館収蔵庫の見学



専門家と共に教材研究

学校力の向上を目指す研修講座

「カリキュラム・マネジメント 応用」 令和3年6月14日(月)実施

学校教育の要ともいえる「カリキュラム・マネジメント」について、各校の取組みについて情報交換をした後、松本大学・教職センター長の山崎保寿教授から「理論と方法」に関する講義をいただき、午後は山崎教授の指導のもと、「カリキュラムの開発と評価」という観点で演習に取り組みました。

【内容】

- 1 情報交換「カリキュラム・マネジメントにかかわる各校の取組み」
- 2 講義「カリキュラム・マネジメントの理論と方法」
松本大学 教職センター長 山崎 保寿 教授
- 3 演習「カリキュラム開発と評価」 山崎 保寿 教授
- 4 情報交換「リフレクション～自校の取組みに生かすために～」



山崎教授の講義の様子



情報交換・演習の様子



《受講者のふりかえりから》

- 教科横断的な活動を行うために、まず「ランドデザインの共有化」に取り組むべきということが分かりました。
- カリキュラム・マネジメントとは、教育課程の質の向上(を図るためのPDCAサイクル)と、そのための調整ということが分かった。
- 各校での実践をお聞きしたことで、本校でのカリキュラム・マネジメントについても、どのように実践していったら良いか、明確になってきました。
- 他校の先生とのグループ活動を通じて参考になることが多くあった。職員が同じビジョンを持つことの大切さがわかった。
- 教育課程編成だけでなく、各分掌においても、カリキュラム・マネジメントの視点を持って、計画・運営・反省(評価)を行うことを、改めて確認できました。



～日々の教材研究に生かします!～ 算数・数学教材研究ノート



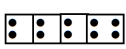
算数・数学の教材研究は、どのように進めていけばいいのですか。
何かヒントになるものはないですか。



それなら、総合教育センターの「算数・数学教材研究ノート」を活用するのは
どうかな。單元ごとに、小学校用と中学校用のファイルが準備されているよ。
見てみよう。

教材研究ノートNo.7-A-21

＜学習問題＞



画用紙を重ねて貼っていったとき、
マグネットは何個必要だろうか。

①本時を構想する上でポイントとなる素地

- 問題解決のための知識・技能
 - ・表にして、数量関係をつかんだり、言葉の式で数量関係を表したりすることができる。
- 既習とつなぐ見方・考え方
 - ・具体的な数により帰納的に考え、文字で置くことができる。
- 共同追究でのゆきぶり
 - ・数量を文字の式を使って表すことは初めて。
- ゆきぶりに対応する経験
 - ・小学校で、具体的な場面で計算の仕方を工夫したり、数値を代入して計算したりする経験をしている。

②見通し

画用紙の枚数がわからないと求められない。

→画用紙の枚数を決めて、マグネットの数を工夫して求めよう。
学習課題:画用紙を適当な数にして、図をかいたり表にしたりして、
マグネットの数の求め方を説明しよう。

③個人追究:図と式、表と式をつなげ、求め方を考える。

④共同追究前半(解法の比較検討)

「それぞれの求め方で共通していることは何だろう？」
→「枚数が変わっても同じ数になるまとまりや変わらないまとまりを見つけている。」

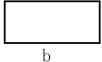
④共同追究後半(思考を深める)

「画用紙の枚数が何枚でもマグネットの数を表す式はできないかな？」
→「小学校で、言葉の式を勉強した。」(言葉の式の言葉の部分を文字に置きかえた式を「文字の式」ということを紹介する。)
「言葉を文字にかえると式が簡単だ。」

⑤まとめ(児童生徒の言葉で)

- ・文字を使うと、いろいろな数量を式で表すことができる。
- ・言葉の式で、数が変化するものを文字にすると求める数量を表すことができる。

⑥定着・活用問題

縦 a cm, 横 b cm の長方形があります。
a  b
(1) 面積を、文字を使った式で表そう。
(2) $(a+b) \times 2$ は何を表しているか、説明しよう。

＜本時の展開に当たっての留意点＞

- ・イメージが持てるように画用紙とマグネットを提示すると共に、具体的な枚数を決めて特別な場合できまりを考えてから一般化する数学の手法を学ばせたい。
- ・図、表を対応させて追究させることにより、枚数が増えたときに変わる量、変わらない量に着目させて、文字の導入を図りたい。

＜学習問題＞

主眼

授業計画・実施記録

この教材研究ノートを見ると、授業の流れがイメージしやすいですね。それぞれのファイルは文書作成ソフトで作成されているから、児童生徒の実態に合わせて変更できるのもいいですね。



それぞれの教材研究ノートには、このページのように、1時間の授業の流れが示されているよ。その時間でつけるべき力をつけるための、教材研究が日常化できるように、教材研究ノートの ① ～ ⑥ が示されているんだ。



詳しい教材研究のポイントについては、
「はじめに(教材研究ノートの使い方)」
をご覧ください。



授業計画や実施記録を記入する部分もありますね。記録に残すことで、自分の授業を振り返ったり、次年度へ引き継ぐ際の資料にしたりできそうです。



長野県総合教育センターHP トップ画面

- 👉 教育情報
- 👉 教科教育
- 👉 算数・数学
- 👉 算数・数学教材研究ノート